

かわら版

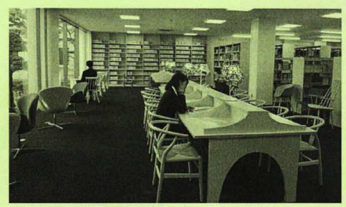
第150号 定価100円

編集 米子をおもしろくしよう会
発行 米子市 377-3735 全
事務局 米子市鶴岡3-77-3 全
今井書店グループ本社内

米子高専の挑戦 リベラルアーツの模索

何年も前に、子どもたちの65パーセントは現在存在しない仕事に就くことになる、という予想がありました。高専に限らず、将来が現在の専門の境界を越えた道路が普通となり、早期における専門決定にリスクは高くなることで、専門を一つ持ちながらの総合能力が光りようになります。また、文理が推進されて、従来、明確に文系、理系に分かれていた区分は解消に向かう流れです。これからの時代において、科学者、技術者にも文系の発想やひらめきが、文系にも数理データサイエンスの素養が必要だという表現で未来社会が語られています。

このような中で最近、キョウワードに所属しているのが「リベラルアーツ」です。「リベラルアーツ」の訳しては「教養」が最も近い



何と言っても読書！（米子高専図書館）

のですが、高専や大学の理系系高等教育機関においては少し意識して「教養」とは使い分けられています。かつて大学では専門教育を優先するために、一般教養は直接役に立たない勉強として軽視された経緯があります。しかし、特別な何かの役に立つ道具は、得てしてそれ以外の目的には使いつらふたりである。逆に、目的優先ではなく、熱中して取り組んだことが後から思いがけず役に立つことも、ままあることです。

か、ご自身がご覧になることはおそれくない」と承知おたしてうけれど、先生自身が嫁入り支度には選ばれたという喪服を召したお嬢様達の姿は、悲しみの中にも美しく映え、きつと先生の想像像だったに違いないと感心しました。



(田中SEM研究所の内部)

若人の心を捉えろ 電子顕微鏡九十の春

めて「エレクトロニクス」の立体像を撮影されたのでしょうか、そののニュースは瞬時に世界中を駆け巡り、平成9年には米子市民栄光賞を受賞されています。

本年10月30日、享年94歳でこの世去なされた鳥取大学名誉教授・故田中敬一先生は、走査電子顕微鏡の世界的権威で、1985年の当時世界最高倍率の電子顕微鏡を観察用試料製法の開発で、世界をリードする多くの業績を残されました。特に有名なのが、世界で初

追悼 美しいものをこよなく愛された 田中敬一先生

学校図書館の夢